

文部科学省からのメッセージ

Congratulatory message from Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology

平成十六年八月三十日
文部科学省

「第2回全日本 学生フォーミュラ大会」の開催、おめでとうございます。

昨年、国内の17チームが参戦して初めて開催された大会は、第2回目を迎える今回、海外からの3チームを含めて34チームがエントリーするほどに規模を拡げました。次代を担う学生に実践的なものづくりの機会を提供するという視点からも、この大会が盛大かつ国際的な行事に育ちつつあることは、たいへん喜ばしいことです。

この大会は、作り上げた自動車の速さだけを追求するだけの競技会でない点、チーム単位での参加を求めている点において、極めて有意義なものです。学生がチームを組み、自動車の企画、設計、製作、試験という一連のものづくりに取り組む過程では、日ごろ学んでいる工学の知識はもちろん、実践的な問題解決力、コスト意識、マネジメント能力など、日頃の授業では身に付けにくい、一個の技術者集団としての知恵が求められるためです。自動車産業の世界で活躍する技術者が直面しているのと同様な課題に直面し、それを乗り越えるために様々な挑戦をすることは、今後、技術者として産業界を支える存在になるであろう学生にとって、得難い経験となるものと考えます。

文部科学省は、本大会を主催された社団法人自動車技術会、大会の企画・運営に携わった皆様、さらに、本大会の運営を支える協賛各団体、スポンサー各位のご尽力に敬意を表します。科学技術の振興は、人類社会が継続的に発展していくための基盤です。また、先導性と創造性にあふれる科学技術人材は、人類社会をさらに発展させるための原動力です。皆様の取組が、そのための大きな助けとなることを期待しています。

そして最後に、本大会に出場を果たした各チームの皆様、参加各校の指導教官や関係者の皆様のご健闘と安全とをお祈りしています。

第3回 全日本 学生フォーミュラ大会開催予定

2005年9月上旬の4日間、於：富士スピードウェイ
皆さんの参加を歓迎します。